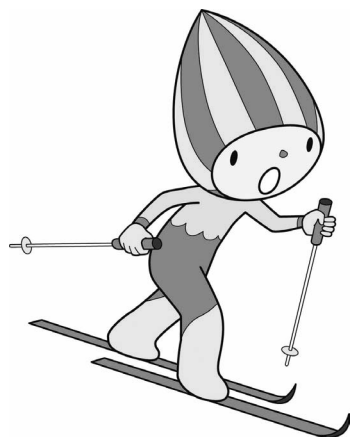
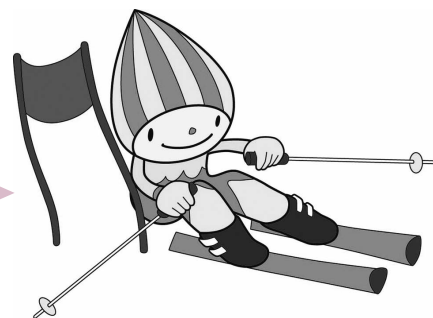




冬季大会スキー競技会で行われる競技を紹介します

■ ジャイアントスラローム:大回転競技

山の斜面に旗をたて、その間を滑りぬけながら速さを競う競技です。選手はビブナンバー順にスタートし、コース内にセットされたゲート(赤と青の旗門)を順番どおりに通過してゴール(フィニッシュ)した所要タイムを競いますが、途中ゲートを完全に通過しなければ、その選手は失格となります。平均スピードは時速50~70kmにもなり、そのスピードの中で速く確実に旗門を通過して滑走するかがポイントとなります。



■ クロスカントリー:距離競技

定められた走法によりタイムを競う競技です。走法には、スケートイングを禁止し、レーン上を走るクラシカル走法と、レーンのない雪上を自由に走るフリー走法の2種類があります。国体では、個人競技がクラシカル走法で、リレー競技がフリー走法で行われます。

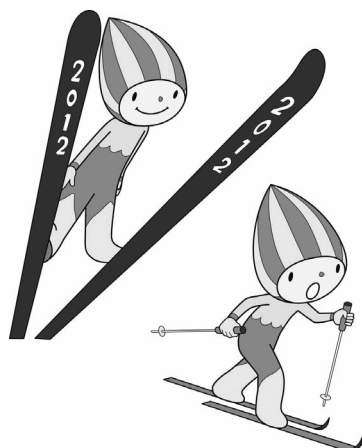
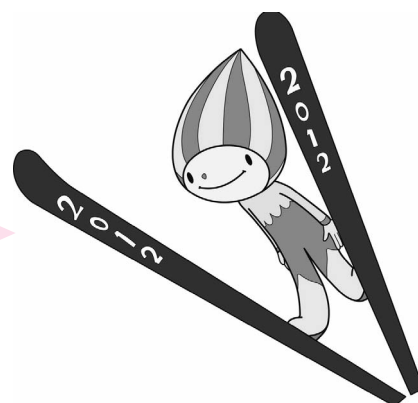
なお、競技が行われる鈴蘭高原クロスカントリーコースは標高1,300mの高地で、コース内の標高差も大きいため、全国的に見ても難関コースです。

■ スペシャルジャンプ:70mジャンプ

試技のあと2回ジャンプをし、飛距離と飛型点(飛んでいる時のフォーム)を点数化して、2回分の合計得点で順位を決定します。

ジャンプ競技でよく耳にするK点とは、ジャンプ台の着地斜面の傾斜曲率が変わる地点のことで、鈴蘭シャンツェは70m。またK点の斜面角度は35度もあります。

颯爽と滑空するようすをぜひご覧ください。



■ コンバインド:複合競技

ジャンプとクロスカントリーを組み合わせせた競技です。

ジャンプ競技とクロスカントリー競技の2種類を合わせて勝敗を争うため、ノルディックコンバインド(ノルディック複合)と呼ばれ、その勝者は「KING of SKI」(スキーの王様)としてたたえられます。

種別

ジャイアントスラローム	: 成年男子、成年女子、少年男子、少年女子
クロスカントリー	: 成年男子、成年女子、少年男子、少年女子
スペシャルジャンプ	: 成年男子、少年男子
コンバインド	: 成年男子、少年男子